



01 火祭り



毎年7月25日に行われる那智美瑛火祭り。燃え盛る松明の炎は夜の暗闇を力強く照らすオレンジのイメージです。強い炎の輝きが勇気とパワーをあたえてくれます。縁結びのパワースポットでもあるこの神社で、情熱の色を味わいます。

見つけに行こう！

松明の炎と響き渡る和太鼓。白装束姿の勢子たちが、十勝岳の噴火鎮魂を願い行われています。祭りの炎が夜空に映えるその頃の日の入りは、午後7時すぎです。



02 美瑛のトマト



太陽の光を浴びて赤く熟したトマトは、まるで美瑛の畑が作った小さな太陽のようにエネルギーに満ちています。トマトの赤色と豊富なビタミンがあってこそ、美瑛の夏なのです。

見つけに行こう！

トマトの旬は5月下旬～10月です。新鮮なトマトをそのままは勿論、スープやソース、ジュースにしても美味しさそのまま。たくさんの商品が生まれており、濃厚で甘味があり人気です。



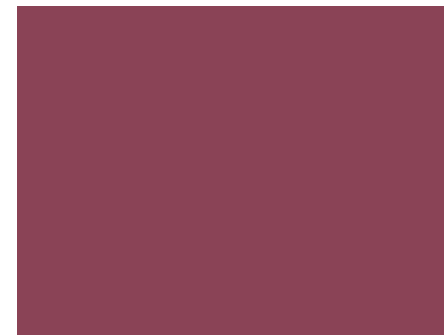
03 夕焼けの丘



美瑛の丘に陽が沈む寸前、山並みや建物がシルエットに変わりつつある瞬間、空は美しい夕焼け色に染まります。太陽の黄色と夜の青色を含んだ繊細なグラデーションに、私たちは圧倒されます。

見つけに行こう！

夏至の日の入りは夜7時15分ごろ。冬至の日の入りは夕方4時ちょっと前。晴れた日、西向きの丘に注目です。写真は、9月8日の夕焼けです。



04 小豆



艶々とした小豆の色は、その一粒一粒が実りの喜びを表しています。伝統の食を生み出し、新しいスイーツを生み出す北海道有数の特産物は、一粒一粒丁寧に保存され、美瑛の丘からの出番を待っています。

見つけに行こう！

小豆は春に種をまき、夏の温かい時期に淡い黄色の花を咲かせます。美瑛では、品種も豊富で「しゅまり」「きたのおとめ」「エリモ」「きたろまん」など10月から年を越して通年販売されます。



05 ハスカップ



生の実、熟すと濃い青色になりますが、ジャムにすると輝くような赤紫に変わります。濃くて深い色なのに抜けるような透明感を持ち合わせた清色です。

見つけに行こう！

ハスカップは北海道ならではの果実で、美瑛でも生産が盛んです。5月中旬から花を咲かせ実がなるのが6月中旬です。栄養価も高く生で美味しく食べられるのは8月上旬、是非旬の時期に美瑛で味わってください。



06 ルピナス



遠目に涼しげな薄紫色を作り上げたのは、美瑛の丘を点描のように彩るルピナスの花です。微妙に違うたくさんの色が集まって初夏の丘の色を作ります。

見つけに行こう！

6月中旬～7月上旬に見られる花です。美瑛町では、自然に咲くものも多くドライブをしながら道端や丘の斜面で見つける事ができます。初夏の爽やかな風を感じながら、ルピナスの花畑を楽しんでください。



07 コスモス



風や雲になんとか秋の気配を感じ始める頃、早くもコスモスが咲き始めます。コスモスにはたくさん色がありますが、夏～秋の青空に映える淡いピンク色には、夏の疲れを癒す優しさがあるようです。

見つけに行こう！

美瑛の丘が、やわらかなピンク色に包み込まれる美瑛の秋8月下旬からコスモスが咲き始め9月に見ごろを迎えます。遠くに見える大雪山系の稜線が花畑を引き立て、その絶景は訪れる人々の心を魅了します。



08 ラベンダー



茎や葉のグリーンとの対比が美しいラベンダー。遠くの畑の緑色とも呼応し合っているかのようです。心穏やかになる癒しの色

見つけに行こう！

ラベンダーの香る風景は、6月下旬から8月上旬、優しい風に揺れるラベンダーからは、爽やかで心癒される香りがふわりと漂い、五感を満たす贅沢な時間が体験できます。



09 ポプラ



美瑛のなだらかな丘から天に向かって伸びるポプラの力強い立ち姿は、私たちの憧れです。暑い夏には木陰を作って涼をくれる葉の濃い緑は、夏空の青と調和します。

見つけに行こう！

四季折々の表情を見せる丘に建つポプラの木々は、農家の方々にとっても意味を持つもので、愛馬の墓であったり、隣りとの境界線であったりと古くから身近にあるポプラの木は、町民にも愛されています。



10 ブロccoli



味とともに面白い形を楽しむブロッコリーは、豊かな緑色のグラデーションでできています。BIE colors はこんもりとした蕾（つぼみ）の芯のみずみずしい緑色をもらいました。

見つけに行こう！

昼夜の寒暖差が大きい美瑛の気候は、野菜の甘みと旨みを最大限に引き出します。しっかりと締まった鮮やかな緑の蕾、みずみずしく歯ごたえのある食感が特徴で、7月から9月末まで味わえます。



11 アスパラガス



ほこほこの土からすっと伸びたアスパラガスは、春に駆け足でやってくるビタミンカラーです。爆速で成長するので、最盛期の農家は早朝から収穫に大忙しです。

見つけに行こう！

旬は5月上旬～6月下旬で、「ラスノブル」という品種は、食味が良いことで高い評価を得ています。他にも豊富に品種はあり、朝もぎのアスパラの味を是非美瑛で体験してください。



12 緑橋



緑橋は、町内を流れる美瑛川に架かる橋のひとつです。森を背景に鮮やかなブルーグリーンが目を引きます。冬は、真っ白な雪とのコントラストが美しく、橋から眺める美瑛川も季節ごとに様子を変え緑橋を美しく演出しています。

見つけに行こう！

緑橋は、美瑛町内で一番長い橋で、1992年に架設され、長さは240mです。美瑛駅からも歩いて行ける場所があるので、街並みを眺めながら橋までの散歩もお勧めです。



13 星空



美瑛の大地が静寂に包まれる夜、頭上には無数の星が煌めきます。澄み切った空気に輝く星は、夜空を青く照らし出すほどです。美瑛特有のゆるやかな丘が広がる地形にパノラマの星が広がります。

見つけに行こう！

四季折々に星が観測できる美瑛町の夏の時期は、天の川を肉眼ではっきりと望むことができます。町内中心部には、天体観測ができる天文台「美宇」があり昼間の星の他、月や土星も見ることができます。



14 青い池・夏



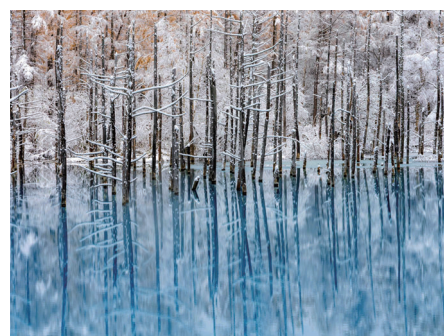
美瑛町の大自然が生み出した奇跡の絶景「青い池」。澄んだ青色の水面に立ち枯れたカラマツが佇む姿は、まるで幻想の世界に迷い込んだかのような美しさです。

見つけに行こう！

夏の青い池は、新緑に包まれ青色がさらに華やかに映ります。その神秘的な青の正体は、アルミニウムを含んだ湧水が光を反射することで生まれる自然のアートです。写真は7月撮影です。



15 青い池・冬



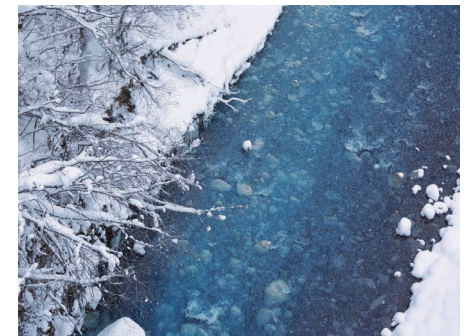
冬の青い池は、雪と氷に包まれた神秘的な世界が広がります。立ち枯れたカラマツにも雪が積もり、湖面は濃いブルーになり白い雪とのコントラストがまた美しく輝きます。

見つけに行こう！

美瑛町の初雪は、10月下旬から11月上旬に見られることが多く、雪の降り始めは、うっすらと真っ白な雪が木々にかぶり静寂な雰囲気漂います。写真は11月撮影です。



16 美瑛川



美瑛川は、美瑛町を流れる清流で、「青い池」の水源としても知られています。特に「白金温泉」付近では、川の水が鮮やかなブルーに見えることが特徴的で、四季折々背景の森林の色とのコントラストが美しさを引き立てます。

見つけに行こう！

美瑛川の源流は、大雪山系の美瑛岳（標高2,052m）にあります。美瑛岳に降り積もった雪や雨が染み込み、湧き水となって美瑛川の流れを作ります。白金温泉周辺を通り、街の各地域を流れ石狩川へと続きます。



17 かぼちゃ



豪快な音とともに深緑の外皮を割ると、赤みのある眩しい黄色の実が現れるかぼちゃ。これほど色の濃い野菜も珍しいですね。しかも栄養豊富。美瑛にはたくさんの種類が実ります。

見つけに行こう！

美瑛町では、「みやこ」「雪化粧」「紅口マン」「坊ちゃん」「くり将軍」など沢山の種類が生産されており、それぞれの味に特徴があります。夏の太陽を沢山ため込んで8月中旬から旬をむかえます。



18 とうもろこし



美瑛には、米、小麦、とうもろこしの世界三大穀物全てが実ります。緑色の皮の間から現れる眩しい色のとうきび粒は、誰もが大好きな夏の味覚です。

見つけに行こう！

真っ白な「ピュアホワイト」濃い黄色で甘味の強い「ゴールドラッシュ」粒皮がやわらかく上品な甘さの「ピーターコーン」など、品種も豊富。8月上旬から9月中旬までそれぞれ収穫を迎えます。



19 きがらし



きがらしの花も美瑛の夏の黄色です。私たちの目を楽しませながらも、畑の土に栄養を与える『緑肥植物』です。この花の後には美味しい作物が実る、丘の大切な黄色です。

見つけに行こう！

きがらしは、9月から10月に満開をむかえ豊かな土地をつくる準備をします。一面に咲くきがらしと青空とのコントラストが美しく様々な美瑛の丘で見ることができます。



20 小麦



秋播き小麦は、青々としていた初夏から一気に色づき、夏の終わりには黄金色の大きな波となります。秋空へと変わりゆく青空との共演がドラマチックに続きます。

見つけに行こう！

美瑛の小麦は、風味が豊かで、たんぱく質も多く、しっとりとした触感、道産小麦の代表と言っても過言ではありません。風景だけでなく美味しいパンや菓子に加工され私たちを楽しませてくれます。



21 ジャがいも



夏にはピンクや白の花と繁った葉の緑が訪れる者を楽しませ、秋にはベージュのじゃがいもがごろごろ実ります。収穫で掘り返された土は、まもなく白い雪の下でゆっくり休みます。

見つけに行こう！

美瑛産のばれいしょは、食味が良いことで定評があります。品種も多く「きたかむい」「きたあかり」「男爵」「メイクイン」など、それぞれ持つ特徴がたくさん料理に生かされます。8月上旬から新じゃがが登場です。



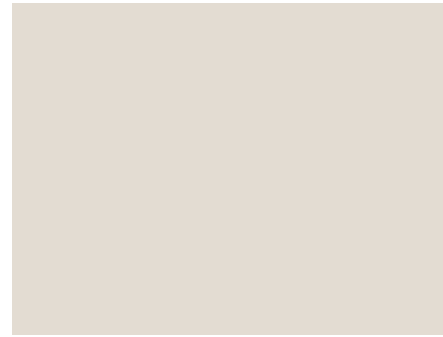
22 すずらん



小さく可憐な花は、ずっと伸びた葉に大切に包まれるように咲いていて、ほんのり緑色に染まって見えます。美瑛の「町の花」として、町民に愛されています。

見つけに行こう！

すずらんは、春から初夏に向けて咲きます。北海道の涼しい気候を好み、美瑛の自然に敵した花で、丘や山間部に自生していました。清楚で可憐に咲くすずらんは、「美しい丘のまち」にふさわしい花と愛されています。



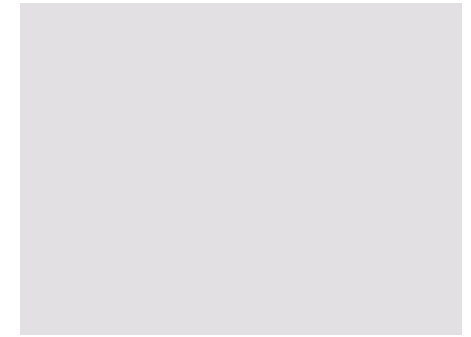
23 美瑛軟石



大雪山が噴火によって生み出された美瑛軟石の色合いは、温かみのある自然な色調で、美瑛の風景や建築物と調和しやすいこともあり駅や倉庫、本通の建物などに使われ、特徴ある街並みを作っています。

見つけに行こう！

美瑛軟石は、軽量でありながら耐久性にも優れおり、町の建物に多く使用されています。美しい石材を使った建物や風景に注目してみると、さらに町の魅力を感じることが出来ます。



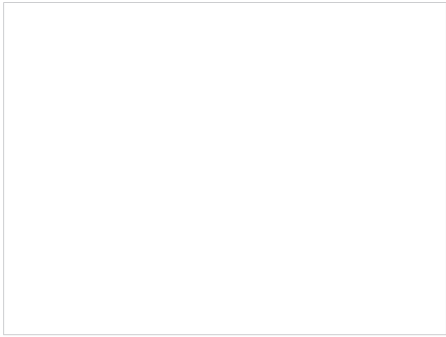
24 白樺



「町の木」に指定されている白樺は、町内でたくさん見ることができます。白い樹皮は冷涼な気候に調和し、北国の森のイメージを作り、青空や紅葉、雪景色とともに美しいコントラストを生み出しています。

見つけに行こう！

白樺は「新たな生命」「清浄」「誠実」を象徴する樹木と言われており、しっかりと根を張り成長する強い生命力を持っているため美瑛町の発展や未来を象徴する木としてもふさわしいとされています。



25 美瑛の雪



美瑛の雪は、降る雪も積もる雪も純白なので、大きな空の色を映してさまざまな色彩を見せてくれます。「雪まくり」は、風によって雪が転がりロール状に大きくなっていく現象です。

写真提供：一般社団法人 美瑛観光協会

見つけに行こう！

「雪まくり」は厳しい寒さと風の中で見られる北国特有の自然現象ですが、その力強い美しさもまた、北国美瑛の冬の一部です。